



第16期 株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日



すべてのどうぶつと人の幸せを目指し、
健康寿命延伸に向けた予防を推進し
新たな保険のかたちを創造します。

アニコム ホールディングス株式会社
代表取締役社長

小 森 伸 昭

2015年度（平成28年3月期）決算につきまして

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社におきましては、今年度の決算を以って設立以来初めてとなる株主様への配当を実施することができました。ここまで当社を支えてくださいました株主のみなさまには厚く御礼申し上げるとともに、今後もみなさまのご期待に沿えるよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、2015年度決算につきまして、ご報告いたします。マクロ的な外部環境として当連結会計年度におけるわが国経済は、日銀による大幅な金融緩和政策が継続しているものの、個人消費の停滞に加え、米国の利上げ、欧州の金融緩和、中国経済の減速など国や地域によって景況感に温度差があることに加え、原油をはじめとする不安定な商品市況などが相俟って不透明な状況が続き、依然として本格的な景気回復とは至らない状況です。

一方、ミクロ的な外部環境としてペット関連市場を見ると、これまでの傾向からしてもマクロ経済環境の変化による影響は限定

的な業界であると認識しております。ここ数年、生体の販売頭数は減少傾向にある一方で、当社グループの中核事業であるペット保険市場は引き続き順調に市場を拡大し、成長を続けております。

続いて、2015年度において取り組みました当社グループの主要な3つの重点施策と業績についてご説明いたします。

1つ目の施策は「ペット保険の健全な成長」です。新規代理店の開拓や既存代理店との関係強化を図り、保有契約数は前年同期比で7.6%増の585,962件と、順調に増加しております。損害率においては、保険契約時の引受審査強化、保険金支払時の査定強化の施策、予防情報の発信強化等により改善が着実に進み、2015年度のE/I損害率は前年同期比で4.3ポイント改善し、60.1%となり改善効果が現れ、ペット保険事業は売上・利益ともに順調に成長を続けております。

2つ目は「新規事業へのリソース投入」です。従前からアニコムパフェ株式会社が開発を進めているクラウド型カルテ管理システム「アニレセF」も徐々に導入が進んでおり、売上を伸ばしているほか、再生医療を中心とした動物の先端医療技術・サービスを開発・提供するため、富士フィルム株式会社と合併企業を立ち上

げるべく準備を進めております（2016年4月に、富士フィルム株式会社51%、当社49%の出資で「セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社」を設立）。さらに、グループ5社目の子会社として2015年7月に、どうぶつ医療分野、ペット分野への投資・事業育成に注力するベンチャーキャピタル「アニコム キャピタル株式会社」を設立し、獣医療の発展およびペット関連市場の拡大に資するベンチャー企業への投資や、研究に対する助成を開始いたしました。

3つ目は「予防に向けた取り組み強化」です。当社は設立以来「予防型保険会社」を確立することでこれまでの社会に無い新たな価値の提供を目指しております。おかげさまで、ペット保険事業で安定的な利益が計上できるモデルが整うとともに株主のみなさまへの配当も行えるまでに至りましたので、いよいよ予防の実現に向けた研究開発強化を行っており、アニコム先進医療研究所株式会社（旧 日本どうぶつ先進医療研究所株式会社）において、研究設備の強化や専門人材の採用というハード・ソフトの両面で投資を行い、研究を加速させております。

これらの施策の結果、当社グループの連結業績は、保険引受収益25,370百万円（前連結会計年度比16.7%増）、資産運用収益690百万円（同32.0%増）などを合計した経常収益が、26,506百万円（同17.1%増）となりました。一方、保険引受費用17,393百万円（同9.3%増）、営業費および一般管理費6,699百万円（同36.6%増）等を合計した経常費用は24,377百万円（同14.0%増）となりました。この結果、経常利益は2,129百万円（同70.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,399百万円（同68.8%増）となり、創業以来最高の経常収益、経常利益、当期純利益を達成いたしました。

2016年度に向けて

今年度も引き続き過去最高の経常収益、経常利益、当期純利益を見込んでおりますが、そのためにも以下3つの重点施策に注力い

たします。

1つ目は「ペット保険の健全な成長」です。魅力ある保険として、契約者への還元と適正な保険制度運営を両立させるべく、損害率は中長期的に55～60%の水準を目指し、そのための商品開発等を継続してまいります。また、安定した事業基盤を着実に拡大させるべく、新規代理店の開拓や既存代理店との関係強化に注力してまいります。

2つ目は「新規事業へのリソース投入」です。当社グループが持つどうぶつと人の健康に関するデータに基づき、健康寿命延伸事業を中心として積極的にリソースを投入し、新たな価値の創造開拓に注力してまいります。

3つ目は「予防に向けた取り組み強化」です。「予防型保険会社」の実現に向け、事故を発生させない仕組みを構築するため、引き続き体制強化を図り、1つでも多くの傷病を1秒でも早く無くす取り組みを継続強化してまいります。

どうぶつと人の健康寿命延伸のために

これまで保険会社は、事故後に保険金を支払うことが役割でした。しかし、単に保険金を受け取るだけではお客様の真の満足を得ることはできません。そもそも、事故を「事前に防ぐこと」、即ち、わたしたち人間にとって大切な家族の一員であるどうぶつが、いつまでもケガや病気をせず、健康に幸せに暮らせる社会を創り上げることが、当グループの使命と考えております。そのためにも、ケガや病気にならない「予防」を強く推進させ、どうぶつと人の健康寿命延伸のため、新たな保険のかたちを創造することで、有効需要の増加と経済の発展に貢献してまいります。

今後もペット保険事業の盤石な体制の形成および新規事業の強化に向けて、グループ役職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き株主のみなさまのご理解とご支援をよろしく願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当年度末	前年度末
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
資産の部		
現金及び預貯金	7,556	4,217
有価証券	10,739	15,108
有形固定資産	1,527	250
無形固定資産	653	566
その他資産	4,297	1,945
繰延税金資産	433	263
貸倒引当金	△ 16	△ 13
資産の部合計	25,192	22,337
負債の部		
保険契約準備金	11,888	10,528
その他負債	2,414	2,411
賞与引当金	157	103
特別法上の準備金	32	22
負債の部合計	14,492	13,066
純資産の部		
資本金	4,396	4,350
資本剰余金	4,286	4,240
利益剰余金	2,080	681
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	10,762	9,272
その他の包括利益累計額	△ 123	△ 1
その他有価証券評価差額金	△ 123	△ 1
新株予約権	60	—
純資産の部合計	10,699	9,270
負債及び純資産の部合計	25,192	22,337

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当年度	前年度
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
経常収益	26,506	22,638
経常費用	24,377	21,387
経常利益	2,129	1,250
特別利益	27	—
特別損失	83	18
税金等調整前当期純利益	2,073	1,232
法人税及び住民税等	796	576
法人税等調整額	△ 122	△ 172
法人税等合計	674	403
当期純利益	1,399	829
親会社株主に帰属する当期純利益	1,399	829

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当年度	前年度
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,960	3,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,489	△ 2,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	89	135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,539	265
現金及び現金同等物の期首残高	1,567	1,301
現金及び現金同等物の期末残高	6,106	1,567

連結株主資本等変動計算書

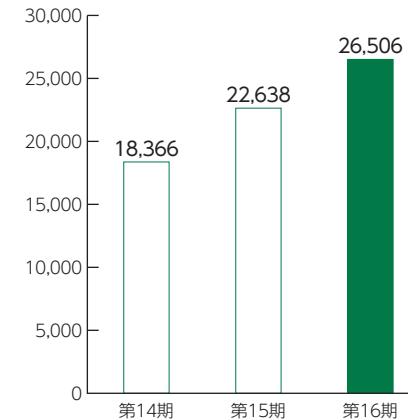
(当年度 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
平成27年4月1日残高	4,350	4,240	681	△ 0	9,272	△ 1	△ 1	—	9,270
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	45	45			91				91
親会社株主に帰属する当期純利益			1,399		1,399				1,399
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 121	△ 121	60	△ 61
連結会計年度中の変動額合計	45	45	1,399	—	1,490	△ 121	△ 121	60	1,429
平成28年3月31日残高	4,396	4,286	2,080	△ 0	10,762	△ 123	△ 123	60	10,699

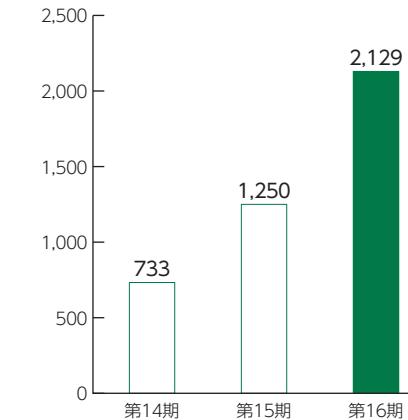
経常収益

(単位:百万円)



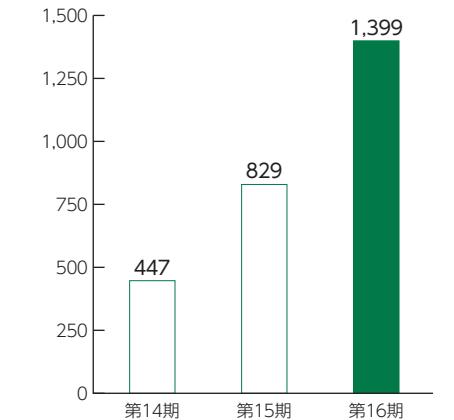
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



健康寿命延伸への取り組み



アニコムグループでは、どうぶつと人間双方の健康寿命の延伸に寄与することを目的とし、多様な研究・調査等の取り組みを推進しています。2015年度は、特定の犬種における死亡原因の調査や、犬・猫の生存曲線を作成し、ホームページの『健康寿命延伸への取り組み』ページで公開いたしました。また、アニコム損保ご契約者を対象に実施した大規模アンケートを元に、飼育環境と疾病の関連の傾向を調査した研究結果を、第47回獣医学学会学術集会にて発表いたしました。今後もみなさまのお役に立つ情報やサービスをご提供できるよう努めてまいります。

健診車を用いたイベント



アニコムグループでは、健診車を用いたイベントを各地で開催しています。獣医師による犬の体脂肪測定、健康相談を実施し、飼育しているどうぶつの現在の身体の状態を把握していただくとともに、より健康で過ごしていただくためのアドバイスをしています。直接、お客様に私たちの想いをお伝えできるイベントを今後も積極的に展開してまいります。また、災害時には、健診車を派遣し、必要な対応が行えるよう準備も整えています。(2016年4月の熊本地震においては、熊本県獣医師会、福岡県獣医師会の要請により、現地にて診察、相談等を行いました。)

富士フィルム株式会社とのジョイントベンチャー設立



再生医療を中心とした動物の先端医療技術・サービスを開発・提供するため、2016年4月、富士フィルム株式会社と合併企業（富士フィルム株式会社51%、当社49%の出資で「セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社」）を立ち上げました。新会社では、富士フィルム社が写真フィルムで培った高度な生産技術や品質管理技術、画像診断技術、血液の化学成分の分析技術および再生医療に関する技術と、当社グループの動物病院ネットワーク、電子カルテシステムおよび豊富な診療情報を組み合わせ、動物の先端医療の実現を目指してまいります。

本社オフィスを西新宿へ移転



業容の拡大に対応し、業務の効率化および採用力の強化を図るため、本社オフィスを2015年10月に西新宿（新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階）へと移転いたしました。今後も、株主のみなさまをはじめ多くの方々のご期待にお応えすべく、グループ従業員一丸となって、より一層の努力を重ねてまいります。

当社ホームページでは、株主・投資家のみなさまに向けた企業情報・財務情報をはじめ、当社グループのCSR活動や経営パラメーター、広報・IRブログなどをご覧いただけます。当社グループをさらにご理解いただくためのツールとしてぜひご活用ください。



IR情報では、財務ハイライトやIRライブラリ等をご紹介します。

また、「IR情報」トップページには社長インタビューを掲載し、株主・投資家のみなさまへ「わかりやすいIR情報」をお伝えしてまいります。

<http://www.anicom.co.jp/>

アニコム キャピタル株を設立

アニコムグループ5番目の子会社として、2015年7月にアニコム キャピタル株式会社を設立いたしました。どうぶつ医療分野およびペット関連分野におけるベンチャー企業の発掘・投資・育成や、教育・研究機関との共同研究などにより、「どうぶつから始まる価値創造」の一助となるべく事業を展開してまいります。



株主のみなさまの声を聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8715

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます**

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)の詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株式の状況／会社概要

株式および株主の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	17,933,600株
当期末の株主数	4,275名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,502	14.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,281	7.1
KOMORIAセットマネジメント株式会社	1,220	6.8
ソニー損害保険株式会社	1,200	6.7
野村信託銀行株式会社(投信口)	499	2.8
小 森 伸 昭	463	2.6
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	450	2.5
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	391	2.2
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	366	2.0
CBLDN THREADNEEDLE INVESTMENT FUNDS ICVC-JAPAN FUND (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	319	1.8

(注) 持株比率は、自己株式(610株)を控除して計算しております。

会社概要 (2016年3月31日現在)

社 名	アニコム ホールディングス株式会社
設 立	2000年7月5日
資 本 金	4,396百万円
本 社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-17-1

役員の状況 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	小 森 伸 昭
常務取締役	百 瀬 由美子
取締役	平 井 聡
取締役	亀 井 達彦
取締役	石 橋 徹
取締役(社外)	小 林 英三
取締役(社外)	川 西 良治
監査役(社外)	猪 俣 吉彦
監査役(社外)	岩 本 康一郎
監査役(社外)	須 田 邦之
常勤監査役	須 田 一夫

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告にて行う
定時株主総会	毎年6月開催		公告掲載URL http://www.anicom.co.jp/
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		